

第 25 回日本輸血・細胞治療学会 秋季シンポジウムのご案内

第 25 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウムを下記のとおり開催いたします。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：2018 年（平成 30 年）10 月 20 日（土）9:00 開始

会 場：リンクステーションホール青森（青森市文化会館）

〒030-0812 青森市堤町 1 丁目 4 番 1 号

TEL：017-773-7300

参加費：5,000 円

（尚、シンポジウム 1 のみへの参加は 1,000 円とさせていただきます。この場合、
他の学会行事への参加はできませんのでご了解ください）

学生および引率教員は無料です。（但しシンポジウム 1 のみ参加できます）

会 長：立花 直樹（青森県立中央病院 医療顧問）

事務局：〒030-8553 青森県青森市東造道 2-1-1

青森県立中央病院 臨床検査部 北澤淳一

TEL：017-726-8111(代) FAX：017-726-8273

第 25 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウムホームページ：<http://www.med-gakkai.org/jstmct25/>

第 25 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム 会長 立花直樹ご挨拶

輸血は“究極のチーム医療”と言われ、医師・検査技師・看護師・薬剤師等の各職種がそれぞれの役割を果たすと共に連携することが必要です。各職種が輸血医療に対する正しい知識や技術を身につけ、それを維持しさらに高めていくことが重要と考えています。そこで本シンポジウムのテーマを「輸血・細胞治療の質を高める」としました。

シンポジウム 1 では「輸血医療の質を高める～医療安全と輸血教育～」をテーマとしました。医療安全と看護教育の専門家よりご発言をいただき、さらに本学会としての取り組み、医療現場で発生しているインシデントの状況についてお話ししていただきます。このシンポジウム 1 は、特に輸血医療に携わる多くの看護師さん達に参考になればという思いで企画したものです。

シンポジウム 2 では、今注目されている小規模医療機関に焦点を絞り、“小規模医療機関における輸血療法の質を高める”をテーマとし、実際に輸血を行っているクリニックの状況、基幹病院との連携、学会としての取り組み、求められる輸血検査についてお話しいただきます。日本では数多くの施設で造血幹細胞移植が行われているという実態を踏まえ、

シンポジウム 3 では「細胞治療の質を高める～造血幹細胞の安全な採取・処理・品質管理」をテーマに、各施設で安全な造血幹細胞移植を行うための留意点について、それぞれ専門の立場からお話ししていただきます。

この他、共催セミナー（ランチョンセミナー）を 4 つ予定しています。また、学会主催セミナーとして、4 つのセミナーが企画されています。

青森県には 100 名ほどの学会認定輸血看護師さんが活躍しています。輸血療法は基本的医療行為の一つであり、認定資格を有さずとも日々実践されている看護師さんも多いと思います。しかし、輸血療法について学習する機会は多くはありません。

本学会では、看護師会員数も増加しており、活発な活動が高く評価されています。各医療機関の輸血医療に携わる皆様には多数ご参加いただき、明日からの輸血業務に役立ててもらいたいと思っています。

どうぞお誘い合わせの上、ご参加下さい。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

【プログラム】

シンポジウム 1「輸血医療の質を高める～医療安全と輸血教育～」

09：05～11：30

座長：田崎 哲典（東京慈恵会医科大学輸血・細胞治療部）

座長：北澤 淳一（青森県立中央病院臨床検査部）

「患者安全と質管理」

演者：長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部）

「特定行為研修を組み込んだ新たな認定看護師制度

—高齢化社会で変化する疾病構造および医療提供体制に応えるために—

演者：溝上 祐子（公益社団法人日本看護協会看護研修学校認定看護師教育課程）

「輸血医療の質向上のための看護師教育～日本輸血・細胞治療学会の立場から～」

演者：河野 武弘（大阪医科大学附属病院輸血室、学会認定・臨床輸血看護師制度審議会、
輸血チーム医療に関する指針策定タスクフォース）

「輸血関連インシデント・アクシデントの現状と対策～各施設及び合同輸血療法委員会の役割～」

演者：岡本 道孝（八戸市総合健診センター）

シンポジウム 2「小規模医療機関における輸血療法の質を高める」

13：00～14：40

座長：末岡 榮三朗（佐賀大学医学部臨床検査医学）

座長：高見 昭良（愛知医科大学内科学講座血液内科）

「在宅輸血の現状と課題」

演者：山岡 憲夫（やまおか在宅クリニック（在宅緩和ケア充実診療所））

「輸血医療における基幹病院と小規模施設（在宅を含む）との連携」

演者：藤田 浩（東京都立墨東病院輸血科）

「小規模医療施設（在宅を含む）に望まれる輸血医療～学会ガイドライン～」

演者：北澤 淳一（青森県立中央病院 臨床検査部）

「小規模医療施設（在宅を含む）で望まれる輸血検査」

演者：奥田 誠（東邦大学医療センター大森病院輸血部）

シンポジウム 3「細胞治療の質を高める～造血幹細胞の安全な採取・処理・品質管理～」

13：00～14：40

座長：藤原実名美（東北大学病院輸血・細胞治療部）

座長：伊藤 経夫（慶応義塾大学病院臨床研究推進センター）

「細胞治療認定管理師制度～制度開始後の現状と課題、将来展望～」

演者：長村登紀子（東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング・輸血部）

「CD34 陽性細胞の標準化測定～外部精度評価の結果と課題、標準化への道筋～」

演者：原口 京子（がん・感染症センター都立駒込病院輸血・細胞治療科）

「効率の良い幹細胞採取～採取機種別の評価と課題、将来展望～」

演者：池田 和彦（福島県立医科大学医学部輸血・移植免疫学講座）

「安全な造血幹細胞の取り扱いについて：現状と今後の展望」

演者：田野崎隆二（慶応義塾大学医学部輸血・細胞療法センター）

セミナー 15：15～17：15

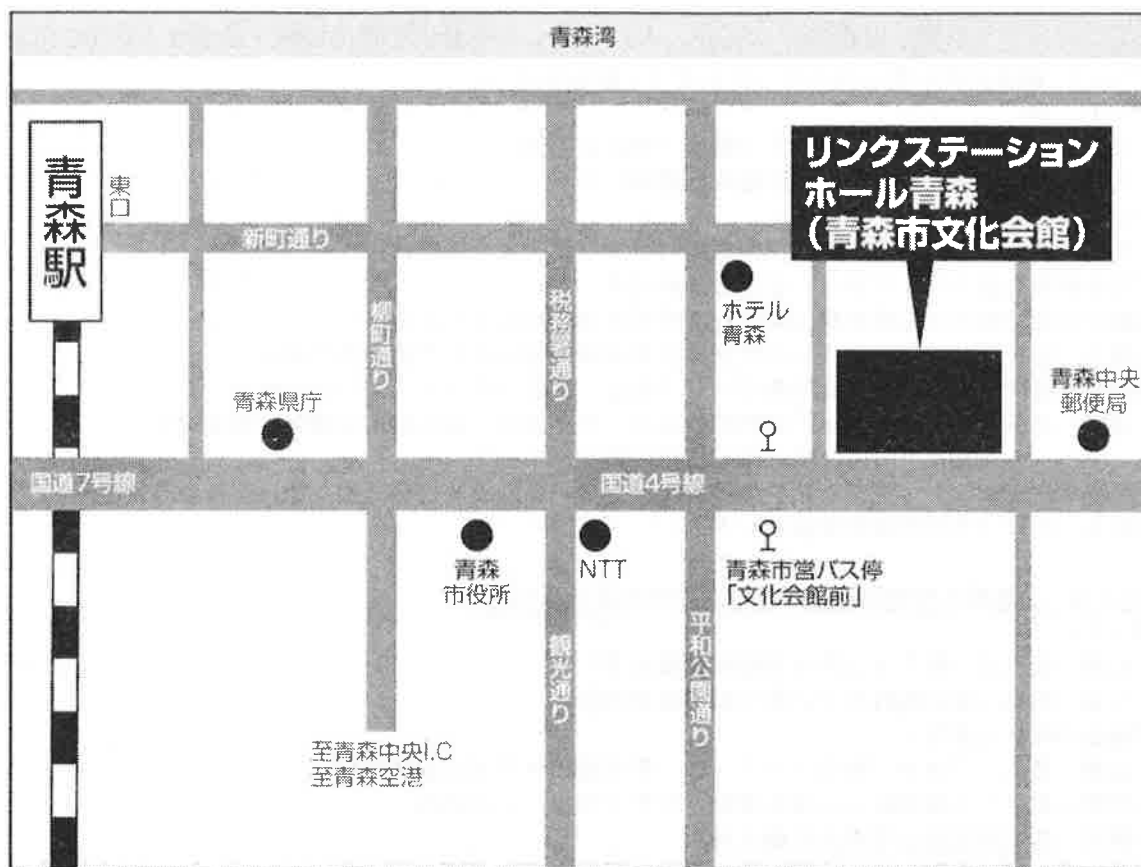
認定輸血検査技師更新必須講座「今知りたい“輸血検査における医療安全対策と管理業務”」

看護師ブラッシュアップセミナー「もう一度、初心に戻って」

細胞治療認定管理師制度指定講習会「細胞製品におけるウイルスの試験とその活用」

ガイドライン委員会特別ワークショップ「輸血療法の実施指針改定における血液製剤のありかた」

交通のご案内



JR 青森駅から

■路線バスをご利用の場合

JR 青森駅正面口（東口）から市営バス②番乗り場「東部営業所行き」

または「県立中央病院前行き」乗車

「文化会館前」停留所下車、バス進行方向へ徒歩1分（バス所要時間 約10分 片道190円）

※「古川経由」または「新町経由」にご乗車ください。「青柳橋経由」は文化会館前を通りません。

■タクシーをご利用の場合

JR 青森駅（正面口）から（所要時間 約10分）

青森空港から

■連絡バス「青森駅行き」をご利用の場合

青森空港から連絡バスで青森駅へ（連絡バス所要時間 約40分 片道700円）

■タクシーをご利用の場合

青森空港からタクシーでリンクステーションホール青森（青森市文化会館）へ
（所要時間 約40分）

東北自動車道から

青森中央インターチェンジから20分程度

※参加者向けの駐車料金サービスはございませんのでご了承ください。